

3月9日の神戸新聞北播版、毎日新聞播磨姫路版には8日の野球部選抜出場壮行会の様子が記事として掲載されました。



激励の言葉や隈主将の抱負などが掲載され、全校あげての取組を紹介していただきました。その後、選手達は強化合宿に出発(入試でグラウンドが使用できないため)。最後の調整に臨みます。私たちは入試を挟んでの応援練習で応援の仕上げをしていきましょう。

そして今の校長室は、昨年夏の大会の優勝旗と選抜出場旗、加えて男子バレー部の新人大会優勝盾、陸上部県総体優勝旗ととても華やかな状態です。本校

3/10 神戸新聞北播版

にお立ち寄りの際は是非のぞいていただき、写真に収めていただければと思います(右写真)。

また3月10日神戸新聞北播版には8日に寄付を持って来ていただいたライオンズクラブの記事が掲載。



昨夏に続いての支援をいただきました。「地元を盛り上げて欲しい」との思いを熱く語られました。さらに毎日新聞には加東みらいこども園の園児達が横断幕を作成してくれているとの記事が掲載、NHK神戸放送局のニュースでも取り上げていただいていた。いつも応援していただいている野球部員も元気をもらっています。地元の支援は本当にありがたいです。加東市観光協会もお手伝いいただき、加東市民への応援態勢をPRしていただいています。この日の抽選で本校の対戦は長崎県の海星高校と決まりました。3月20日

毎日新聞

(月)9:00プレーボールです。皆様の温かい応援をよろしく願いいたします。

3月10日は兵庫県公立高等学校入学者選抜学力検査が行われました。当日は天気も良く、とても暖かい日で一安心。さらに本校は欠席者、体調不良者もなく、普通科151名、生活科学科20名の受検生が予定通り受検に臨んでくれました。随分と体調管理に気をつけられたと思います。本日の受検が無事終われば、発表は3月17日(金)10時です。市内の中学校ではこの間に卒業式を迎えられると聞きました。いよいよ春本番。コロナに翻弄された中学校時代だったと思いますが、そこで蓄えられた力はとても大きなものがあると思います。合否にかかわらずその力をそれぞれのところで活かして頑張ってください。



3月11日は東日本大震災から12年の時を迎える日となります。当時神戸マラソン事務局に勤務していた私は、地元自治会の方にコースの説明に伺い、その席上でつけられたテレビの映像を見てただただ驚くばかりでした。家が、船が、車が流される映像と津波の恐ろしさを目の当たりにしたショックでしばらく呆然としていた記憶があります。神戸マラソンは地元の復興をアピールするだけでなく、東日本大震災で心を痛めた方々に復興の姿を見せるというコンセプトも盛り込むことになったことを思い出します。さらに2年後南三陸を子供達と訪ねたときに、あまりにも進んでいない復興を見て改めて津波の怖さを知りました。リアス式海岸のため海浴いを走ると同じ光景が何度も目に飛び込んできました。こんなところまで津波が来たのかという被害の大きさに自然災害の恐ろしさを感じました。新型コロナで日常を奪われた生活が続いていましたが、その間に感じたことは多々あったと思います。毎年どこかで起こっている自然災害。日常を奪われることに対して一人では立ち向かえないことがたくさんありますので、できる支援をしていく気持ちを失わず、現地を訪れたり、募金をしたり、ボランティアに参加したりすることで困っている方々の支えに少しでもなれるようにしていきたいですね。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りし、できる事をやっていきましょう。

長かった冬も過ぎ、3月17日には日の出、日の入の時間が6時8分と18時9分となりほぼ昼と夜の時間が同じになります。この日を境に昼の時間の方が長くなっていきます。暦上は3月21日春分の日となるのでしょうか。春本番を迎えます。桜の開花時期予想は2月1日からの1日の最高気温の合計が600度を超える時期と言われているそうで、兵庫県では3月23日頃の予想だそうです。春に向けた準備を進めていきましょう。